

## 化学物質等安全データシート

改定日 2010年10月20日

### 【1. 化学物質等及び会社情報】

化学物質等の名称：粉末「BC」消火薬剤  
会社名：宮田工業株式会社  
住所：神奈川県茅ヶ崎市下町屋 1-1-1  
電話番号：0467-85-1213  
FAX番号：0467-87-3584  
緊急連絡番号：0467-85-1273

### 【2. 危険有害性の要約】

#### GHS 分類

物理化学的危険性：情報なし  
健康に対する有害性：急性毒性(経口) 区分5  
皮膚腐食性/刺激性 区分3  
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分2B  
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) 区分1(胃破裂)  
環境に対する有害性：情報なし  
上記で記載がないものは分類できない、分類対象外

#### GHS ラベル要素：

絵またはシンボル：



注意喚起語：危険

危険有害性情報：

- ・ 飲み込むと有害のおそれ
- ・ 軽度の皮膚刺激
- ・ 眼刺激
- ・ 臓器の障害(胃破裂)

注意書き

(予防策)

- ・ 取扱い後手を良く洗うこと。
- ・ 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・ この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

- ・ 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- (対応)
- ・ 気分が悪い時は医師に連絡すること。
  - ・ 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。
  - ・ 眼に入った場合、水で5分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
  - ・ 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。
  - ・ 暴露した場合、医師に連絡すること。
- (保管)
- ・ 容器を密閉し、直射日光をさけ、熱源から離れた換気の良い場所で施設して保管すること。
- (廃棄)
- ・ 内容物や容器などの、製品付着物は関係法令に従って廃棄すること。

**【3. 組成、成分情報】**

単一の化学物質・混合物の区別：混合物

成分及び含有量

内容成分 (化学名又は、慣用名)	含有量 [wt%]	C A S No.	P R T R法
炭酸水素ナトリウム	90～96%	144-55-8	対象外
ホワイトカーボン シリコーン樹脂	4～10%	登録済み	対象外

**【4. 応急措置】**

下記の応急措置を施すとともに、直ちに医師に連絡を取りその指示に従う。

吸入した場合

- ・ 空気の新鮮な場所で安静にする。
- ・ 微温水で鼻腔を洗い、うがいをする。

皮膚に付着した場合

- ・ 水および石鹼水で付着部分を洗い流す。

眼に入った場合

- ・ 眼と接触した場合は、直ちに多量の水であらい医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

- ・ 被害者が意識のある場合、水で口の中を洗浄する。
- ・ 吐き出させ、速やかに医師の診断を受ける。

応急措置をする者の保護

- ・ 救助者が有害物質に触れないよう、適切な保護具（暴露防止及び保護措置の項参照）を着用する。

---

**【5. 火災時の措置】**

## 消火剤

- ・ 不燃性である。

## 特定の消火方法：

- ・ 製品は不燃性である。
- ・ 火災に暴露されている容器を水噴霧により冷却する。
- ・ 火災発生場所の周囲に関係者以外の立ち入りを禁止する。

---

**【6. 漏出時の措置】**

## 人体に対する注意事項：

- ・ 作業者は必ず保護具（暴露防止および保護設置の項を参照）を着用する。
- ・ 屋内の場合、処理が終わるまで十分な換気を行う。
- ・ 漏出した場所の周囲にはロープを張るなどして、人の立ち入りを禁止する

## 環境に対する注意事項

- ・ 漏出物が河川、公共水路に流れ込むのを防止する。

## 除去方法（回収・廃棄）

- ・ 飛散したものを掃き集めて密閉可能な容器に回収し、【13. 廃棄上の注意】の項目に従って廃棄する。

## 二次災害の防止

- ・ 漏出した場所の周辺には、作業員以外の立ち入りを禁止する。
- ・ 万一河川、公共水路等に入った場合、直ちに地方自治体の公害担当者に連絡する。

---

**【7. 取扱い及び保管上の注意】**

## 取扱い

- ・ 容器は注意して取扱い、開ける。
- ・ 使用時に飲食、喫煙しない。
- ・ 皮膚との接触を避ける。
- ・ 眼との接触を避ける。
- ・ 眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い医師の診断を受ける。
- ・ すべての汚染された衣類は直ちに脱ぐ。
- ・ 皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水又は石鹼水で洗う。

## 技術的対策

- ・ 取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗顔設備等を設けその位置を表示する。
- ・ 作業中のコンタクトレンズの着用は好ましくない。
- ・ 眼/顔面用の保護具を着用する。
- ・ 適当な保護衣及び眼/顔面用の保護具を着用する。

- ・取扱い後は手洗い、洗顔を十分に行う。

#### 注意事項

- ・換気の良い場所で取り扱う。
- ・密閉場所での作業は、十分な局所排気装置を付け適切な保護具を着用する。

#### 安全取り扱い注意事項

- ・容器、器具、配管等は、ステンレスやプラスチックやガラス等の防錆素材のものを使用する。
- ・容器または梱包袋を転倒させ、衝撃を加え、また引きずる等の乱暴な取り扱いをしてはならない。
- ・手洗い、洗顔等の設備を設け、取り扱い後に十分うがいや手洗いを行うこと。

#### 保管条件

- ・吸湿性がわずかにあるため大気中に長時間放置すると固化する恐れがあるので、密閉した容器に保管し、使用温度範囲内の場所に保管する。

#### 安全な容器梱包材料

- ・推奨：製品容器及び該当消火機器。

---

### 【8. 暴露防止及び保護措置】

#### 暴露軽減設備対策

- ・粉塵作業場所では、排気設備を設置する。

#### 保護具

呼吸器の保護具：防塵マスク

手の保護具：保護手袋(ビニール製、ゴム製)

眼の保護具：保護メガネ(ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具：保護服(帯電防止型長袖、長ズボン)、保護靴(帯電防止型)を着用する。

適切な衛生対策：保護具は清潔な一定の場所に保管し、有効期限が切れたものは使用しない。取り扱い場所の近くにシャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明示する。

- ・取り扱い場所の近くにシャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明示する。

---

### 【9. 物理的及び化学的性質】

#### 物理的性質

外観：白色微粉末

臭気：ほとんど無臭

比重：2.20 (真比重)

#### 化学的性質

分解：50℃を超えると徐々に分解を始め炭酸ガスを放出する。

---

**【10. 安定性及び反応性】**

## 安定性

- ・常温における取り扱い条件では、安定である。

## 特定条件下の危険な反応

- ・情報なし

## 危険有害な分解生成物

- ・情報なし
- 

**【11. 有害性情報】**

## 急性毒性

- ・経口マウスLD50 4220 mg/kg (炭酸水素ナトリウム)

## 局所効果

## 皮膚刺激性

- ・皮膚への繰り返し接触は皮膚炎を起こすことがある。

## 眼刺激性

- ・眼と接触すると刺激し、炎症をおこすことがある。

## 重炭酸ナトリウムとして

## 特定標的臓器・全身毒性、単回暴露

- ・ヒトの経口摂取後、ガスの過剰発生により急性的に胃破裂を起こし、入院に至ったケースが複数報告されている。(JETOC)
- 

**【12. 環境影響情報】**

## 魚毒性

- ・淡水魚について静的生物検定法による急性毒性値として9000 ppm (TLm, 4日) が報告されている。(炭酸水素ナトリウム)

## 分解性

- ・情報なし

## 蓄積性

- ・情報なし

## 環境への影響

- ・閉鎖性水域で水質の富栄養化をもたらす恐れがある。
-

---

**【13. 廃棄上の注意】**

## 残余廃棄物

- ・ 該当法規に従って廃棄物処理を行う。(国、都道府県ならびに地方の法規条例に従うこと。大気汚染防止法、廃掃法、ダイオキシン類対策特別措置法及び都道府県市町村条例に基づき処理する。)
- ・ 産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、内容を明確に処理し委託する。
- ・ 廃棄物は焼却処理する。

## 汚染容器・包装

- ・ 空容器や包装剤を廃棄する時は、内容を完全に除去した後に処理する。

---

**【14. 輸送上の注意】**

容器に漏れのない事確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み荷崩れ防止を確実に行う。

---

**【15. 適用法令】**

主な適用法令は以下の通りである。

水質汚濁防止法：水素イオン濃度等の項目

---

**【16. その他の情報】**

消火薬剤型式番号：薬第41～10号

記載内容に関するお問い合わせ先

担当部門： 生産本部 技術部 薬剤課

電話番号：0467-85-1213

FAX番号：0467-87-3584

---

- ・ 本MSDSに記載された含有量、物理的及び化学的性質、有害性情報、環境影響情報等の値は、保証値ではありません。
- ・ 記載内容については、現時点で入手した情報及び資料に基づいて作成しておりますが、記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので取扱いには注意してください。  
なお、注意事項等については通常の実施を前提としたものですので、特別な取扱いをする場合には、さらに用途用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。
- ・ 本MSDSの改定版を受領した場合には、旧MSDSを廃棄下さるようお願いいたします。